

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |            |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称     | (仮称)湘南台駅前土地開発計画       | 階数     | 地上10階      |
| 建設地      | 神奈川県藤沢市湘南台1丁目3-1, 3-2 | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 商業地域                  | 平均居住人員 | 160人       |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 8,760時間/年  |
| 建物用途     | 飲食店・集合住宅              | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2018年1月 予定            | 評価の実施日 | 2016年9月27日 |
| 敷地面積     | 800 m <sup>2</sup>    | 作成者    | 株式会社 フジタ   |
| 建築面積     | 397 m <sup>2</sup>    | 確認日    |            |
| 延床面積     | 3,429 m <sup>2</sup>  | 確認者    |            |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆

標準計算

|          |      |
|----------|------|
| ①参照値     | 100% |
| ②建築物の取組み | 86%  |
| ③上記+②以外の | 86%  |
| ④上記+     | 86%  |

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

|       |     |
|-------|-----|
| 音環境   | 3.1 |
| 温熱環境  | 2.2 |
| 光・視環境 | 2.7 |
| 空気質環境 | 3.4 |

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

|         |     |
|---------|-----|
| 機能性     | 3.2 |
| 耐用性・信頼性 | 3.0 |
| 対応性・更新性 | 3.0 |

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

|           |     |
|-----------|-----|
| 生物環境      | 3.0 |
| まちなみ・景観   | 3.0 |
| 地域性・アメニティ | 3.0 |

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

|           |     |
|-----------|-----|
| 建物外皮の熱負荷  | 2.9 |
| 自然エネルギー   | 3.0 |
| 設備システム効率化 | 4.0 |
| 効率的運用     | 3.0 |

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

|            |     |
|------------|-----|
| 水資源        | 3.4 |
| 非再生材料の使用削減 | 3.2 |
| 汚染物質回避     | 3.7 |

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

|           |     |
|-----------|-----|
| 地球温暖化への配慮 | 3.5 |
| 地域環境への配慮  | 2.5 |
| 周辺環境への配慮  | 3.0 |

| 3 設計上の配慮事項   |   | その他   |
|--|---|---|
| <b>総合</b><br>湘南の風を感じる学生寮。居住者及び地域住民に対し時間や曜日に応じてフレキシブルに利用可能なコミュニティスペースとなる空間を提供する。  |   | 0   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>外皮に断熱材を施工、複層ガラスを使用して外界からの熱的負荷を抑制する。室内の空気質を健全に保ち、居住者が快適に過ごすことができるよう配慮する。十分に採光が得られる計画とする。全館禁煙とし、喫煙所は建物内部に設置しない計画とする。 | <b>Q2 サービス性能</b><br>地震時の安全性に配慮した耐震性を確保する。更新間隔の優れたダクトや配管材を用い、建物の長寿命化を図る。             | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>中高木等の植栽により、緑ある優しい景観を演出する。尚、既存木々をなるべく残し、植栽する木々には一部食餌木を植栽することで生物環境の保全を図る。舗装面積を抑制し、暑熱環境緩和を図る。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>効率の優れた機器(LED照明)によるエネルギー量の削減  | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>水栓及び便器は自動水栓などに加えて節水型便器を使用し、水資源の保護を図る。断熱材はノンフロン仕様とし、温暖化抑制を図る。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>運用時のCO <sub>2</sub> 排出量の抑制。   |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される